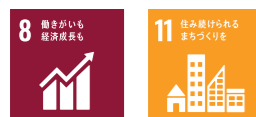




株式会社アイビック

異常気象に伴う土砂災害から
地域の人々を守り、
安心・安全な生活に寄与



富岡市

住所 富岡市下高瀬534番地
TEL 0274-63-1124
Mail gunma@ivic-corp.com
URL https://www.ivic-corp.com
代表者 加藤 勝弘
設立 1965年2月9日
資本金 5,600万円
従業員 95人

WEBサイト



企業紹介

当社は、斜面・法面の崩壊防止対策、落石対策及び地すべり防止対策などの土砂災害防止工事を行っています。「人々の安全・安心に寄与し、自らは常に進化し続けることを目指す。」を経営理念とし、自然環境に配慮した斜面防災対策施工技術の磨き上げと人材育成を通じてたゆまない進化と革新を続け、地域社会の安全と発展に貢献することを使命としています。

経緯・背景

世の中の情勢が目まぐるしく変化していく現代において、社員及びその家族が安心して働けること、また、異常気象に伴う土砂災害から地域の人々を守り、安心・安全な生活に寄与することは、当社にとって積極的に取り組んでいく課題です。これらに伴って、当社は2023年3月に「SDGs宣言」を行いました。「多様な人材の雇用機会の拡大」や「環境負荷軽減に寄与する斜面防災工法の追求・提案型営業の実行」などの具体的な取組を実施しています。

強靱かつ持続可能な インフラ整備を可能にする 斜面防災技術で環境負荷軽減

具体的な取組・成果

1965年の創業以来、地域に根差した企業を目指してきました。群馬県の本社以外に、秋田県、青森県、神奈川県、静岡県に支店・営業所を構えていますが、それぞれに所属している社員は、95%程度その県の出身者が占めています。また、文系・理系に関係なく意欲のある方を積極的に採用しています。文系を卒業した社員が現場管理者として力を発揮しています。技能実習生として、2018年にはベトナムから8人、2022年にはフィリピンから2人を受入れています。



タフネスフォーマー工法（吹付） 施工前



タフネスフォーマー工法（吹付） 施工完了

環境負荷軽減に寄与する斜面防災工法として、2018年にタフネスフォーマー工法を開発しました。この工法は、高い接着力（120t/m²）を持ったポリマーセメントモルタルを用いて斜面の表層崩壊や落石を防止することが可能です。従来のモルタルやコンクリートを吹き付ける工法と比較すると、使用機械が大幅に軽減可能で、薄層吹付で効果を発揮するため、CO₂の排出量

を削減することが可能となります。吹付工法としては、群馬県、みどり市及び南牧村の発注工事で施工しています。既設石積みの補修・補強工法としては、群馬県及び富岡市の発注工事で使用されています。他県でも同様に施工された箇所が多くあります。



タフネスフォーマー工法（石積み補強） 施工完了

当社にとってのSDGsビジョン

強靱かつ持続可能なインフラ整備を可能にする斜面防災技術を通じて、人々へ高品質な安全・安心を提供しつつ、自らは進化し続けることにより環境負荷軽減を追求し、持続可能な社会の構築に貢献するため取り組んでいきます。

今後の展望と求めるパートナー像

昨今のゲリラ豪雨などの異常気象に起因する土砂災害を防止することは重要かつ喫緊の課題となっています。当社は、持続可能な社会の実現に向けて積極的な取組を行っていくために、地域社会から必要とされる企業として、環境負荷軽減に寄与する斜面防災工法を展開していきます。



東金属株式会社

廃棄物リサイクルから再生可能エネルギーまで循環型社会の形成に貢献



太田市

住所 太田市新田反町131
TEL 0276-56-1121
Mail info@azumametal.com
URL https://www.azumametal.com
代表者 宮下 徹
設立 1955年6月28日
資本金 5,000万円
従業員 約80名(グループ含む)



企業紹介

1955年創業の当社は、「循環型社会を目指し、安全で健康な生活環境に貢献する。限りある資源の再利用事業(3R)に高い志をもって挑戦し、循環型環境社会との感謝と信頼の絆を創る」を経営理念として、鉄・非鉄スクラップ、廃プラスチック類、家電・小型家電等のマテリアルリサイクルをなりのわいとして歩んでまいりました。また、更なる展開として、廃棄物発電のサーマルリサイクルや太陽光発電など再生可能エネルギー等も手掛けることにより、「地球にやさしい総合リサイクル企業」を目指しています。

経緯・背景

当社は、1955年、まだ自動車が普及していないとき将来モータリゼーションが起こり、リサイクルが必要となることを予測し、鉄スクラップ業を始めました。その後群馬工場では、1993年に廃棄物中間処理業許可を取得し、鉄・非鉄のリサイクルを開始。2002年にはフロン排出抑制法の施行に先立ちプラズマ破砕機を導入、2017年にはプラスチック資源循環促進法の施行を見据え、リサイクルを開始するなど社会のニーズを先取りした環境ビジネスを展開してきました。今後も、未来を展望した循環型社会の形成に貢献していきます。

安全で効率的なリサイクル技術を追求

具体的な取組・成果

【鉄・非鉄スクラップ事業】

日本の都市鉱山蓄積量で、鉄は12億トン、銅は38百万トンとされています。当社は、使用済み家電、建物などの解体や廃棄物及び廃自動車等々の都市鉱山から、鉄は年間48千トン、非鉄は年間20千トンのリサイクルしております。また鉄の生産には、鉄鉱石と石炭を原料にして製造する高炉方式と鉄スクラップ(リサイクル鉄)を電気で溶かして製造する電炉方式があり、電炉方式は高炉方式に比べ、CO2排出量は1/5とされています。当社の鉄・非鉄スクラップ事業は、全て電炉方式で行い、地球温暖化対策にも寄与しています。

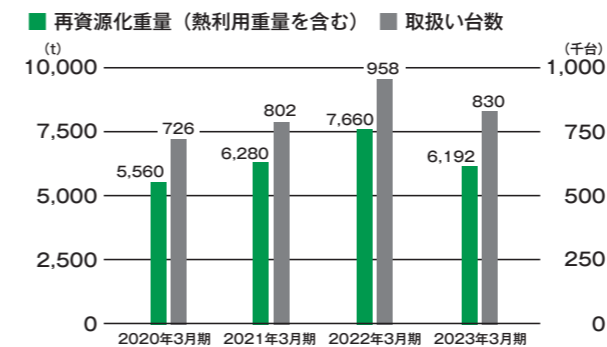
【家電・小型家電リサイクル事業】

日本の小型家電の廃棄量は、年間約10.2万トンとされており、当社(委託先含む)は、年間約7.2千トン(シェア7%)(R2年度実績)をリサイクルしております。また、機械による破砕前に非鉄、基盤、銅線、モーター、廃プラスチックの種類ごとに人の手で細かく解体・選別を行い高いリサイクル率を目指しています。



小型家電リサイクル工場

小型家電リサイクルの取扱い台数推移と再資源化重量



【廃プラスチック類リサイクル事業】

通常のリサイクルで発生した廃プラスチックは、混合状態で助燃材にしかありませんが、当社では種類ごとに細かく分別してから加工するため、グループ会社ヤマダデンキ店舗の買い物かごやリユース工場の生産パレットなどに再製され、循環利用されています。



廃プラスチックから買い物かごへ

【再生エネルギー事業】



太陽光発電所

当社にとってのSDGsビジョン

当社のSDGsにおける主目標は、「12.つくる責任 つかう責任」です。具体的には、「人が作った廃棄物は、人が管理できる場所で、人が設備を十分管理し、人が安心して生活できるまでに環境負荷を低減し、人が適切に処理(リサイクル)すること」を実行していきたいと考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

今後、日進月歩でハイテクな商品・製品が作られ、いつか必ず廃棄物となることから、安全で効率的なリサイクル技術の研究は必須です。また、その技術を生かす人材も必要です。そのため、自治体、大学・研究機関、地域の皆様との協働を目指します。「産・学・官・民」の連携により、持続可能な循環型社会の形成を目指します。

巻くのやめて 任せてみない？



石坂電器株式会社

一人一人が心を通わせ知恵を出し合う
未来へつなぐモノづくり



伊勢崎市

住所 伊勢崎市波志江町1777
TEL 0270-24-2983
URL <https://iszk-gr.jp/>
代表者 石坂 剛司
設立 1964年6月
資本金 1,500万円
従業員 138人



企業紹介

当社は、伊勢崎市に2工場、前橋市に1工場と地域に根付いた会社です。主要事業はコイル製造やアルミパイプ加工です。一人一人が心を通い合わせ、知恵を出し合う「和衷協同」の精神でモノづくりに向き合います。



石坂電器本社工場

経緯・背景

脱炭素に向けた動きが加速している中で、石坂電器ではSDGsの宣言書を作成し、CO2排出量の削減など2030年までに達成すべき目標を設定しました。目標を設定することで社員全員が同じ姿勢でSDGsに取り組めるようになったとともに、取引先様や求職者の方々にも石坂電器の活動に共感を持っていただけるようになりました。最初はSDGsの活動の進め方に悩むこともありましたが、「まずはできることからやってみる」を積み重ねて前進してまいりました。

データの各月管理で着実に 目標に近づく、データで 計れない満足まで実現へ

具体的な取組・成果

- 環境データの各月管理
毎月、電気使用量・廃棄物・リサイクル量の管理を行い、目標に向けて進捗を確認しています。
仕入材料も含めたCO2排出量の把握を進めており、Scope3の立場でお客様へ環境データの提出も行っていきます。



工場の屋根に設置されたソーラーパネル

- 環境に配慮した製品の開発・量産
高圧水素タンクの電磁弁に搭載されるソレノイドコイルを共同開発しました。従来のガソリン車向けの製品だけでなく、水素燃料への領域にも一歩踏み出したことで、排出されるCO2の削減に貢献できればうれしいです。
銅電線のコイルよりも重量が軽い、アルミ電線のクラッチコイルを量産しており、微量ながら搭載・輸送時の燃費の向上に寄与しています。
- CO2排出量の削減
2030年にCO2排出量を50%削減（2018年度比）することを目標にしています。全3工場の屋根に太陽光パネルを設置し、発電量は一般家庭のおよそ20世帯分の電力量に及びます。クリーンエネルギーで生産活動の電力の一部をまかなっています。
また、フォークリフト及び社用車を100%EV化することを目標にしています。昨年度はEVの社用車を2台導入し、フォークリフトは所有する7台全てをEVに切替え、着実に目標に向け近づいております。
その他、全3工場の照明をLEDに入れ替えるなど、電力消費を低減する投資を続けています。



社内マルシェでお配りした野菜

- 雇用環境への取組、地域社会との連携
社員の方々へ日頃の感謝の気持ちを込めてマルシェを開催しました。近隣の農家様や飲食店様に協力いただき、お弁当や野菜などを社員へ無償で提供しました。美味しいものを食べて、健康に、そして元気に勤めてほしいという思いを込めたマルシェです。近隣地域と石坂電器のつながりも深めることができました。



当社にとってのSDGsビジョン

社員と企業と社会のつながりを大切に、好循環の輪を生むことが石坂電器にとってのSDGsビジョンです。一人一人が行っている日常業務や普段の生活が社会に影響を与えることを意識し、持続可能な社会の実現のために動き続けます。

今後の展望と求めるパートナー像

多くの方々の支えのおかげで、石坂電器は創業60周年を迎えることができました。今まで当社にご理解・ご協力をしていただいた方々はもちろん、より良い未来を望む全ての方々にパートナーだと考え、これからも知恵や工夫を結集したモノづくりにチャレンジしていきます。



糸井商事株式会社

「循環する社会をカタチに」
から複合的に
地域を支えています



高崎市

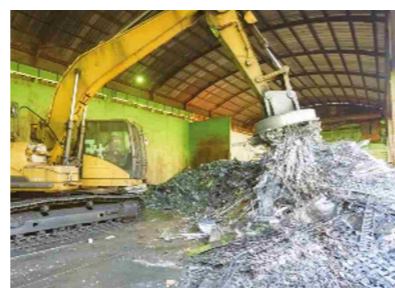
住所 高崎市上大類町399
TEL 027-352-6335
Mail mitani@itoi-shoji.co.jp
URL https://www.itoi-shoji.co.jp/
代表者 糸井 丈之
設立 1946年
資本金 9,600万円
従業員 60人



企業紹介

当社の特徴は、「循環する社会をカタチに」をキーワードに複合的に展開していることです。

①原料事業②鋼材事業③工事業④資源循環事業の4事業を核として、スポーツ事業、eスポーツ事業、農業事業、NPO法人などを展開し、地元群馬の活性化に取り組んでいます。



経緯・背景

使用可能なものを廃棄し続け、世界のごみは増加の一途をたどっています。

販売されているリサイクル品は、新品同様のアウトレットがほとんどです。このようなことから、当社は新規事業を検討しています。新しいアイデアでごみとせず新しい価値にすること。これが広がればごみが無くなる世界への道筋になると考えます。

処分や廃棄ではない 新たなサイクルで作る 未来の実現へ

具体的な取組・成果

- 1.新しいアイデアでごみ箱が新しい価値へ
ゼロ・ウエストTOWN取組
(古紙・ダンボール・雑誌回収)
設置されたBOXをラッピングすることで、広告メディアとして運用できます。

ゼロ・ウエスト TOWN設置事例



Gメッセ群馬 G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合
2023.4.29-30



Gメッセ群馬 全日本eスポーツ実況王決定戦
2023.12.9



エコスル問屋町、エコスル上並
榎町で個人向け資源回収を実施

- 2.新規事業への取組

廃プラスチック環境改善につながる活動を、新規事業として検討中です。持ち込まれた廃棄物に当社で修繕・塗装加工を行い販売する形で、廃プラスチック削減を考えています。

お客様においても、ほかでは購入できない“安くてちょっといいもの”を提供することが可能だと考えます。

- 3.スポーツ事業・eスポーツ事業への取組
地元群馬の活性化に向け、支援していきます。



2023年にスタートした「グンマeスポーツアワード」への協賛・運営で協力(写真提供:上毛新聞社)



当社にとってのSDGsビジョン

SDGsは、創業からの事業といっても過言ではありません。スクラップ回収や解体工事も持続可能な社会づくりに必要不可欠な事業と考えています。

昨今、問題になっている廃プラスチックを処分することなく、原料として再使用し廃棄ではない新しい利用を作る未来を実現したいと考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

地域の活性化なしに、当社の繁栄は成り立ちません。

地元群馬を元気にしたい強い思いで、スポーツ事業、eスポーツ事業、農業事業、NPO法人などを展開しています。

今後も時代のニーズに対して敏感かつ柔軟に対応し、お客様と地域のお役に立てるよう努力してまいります。



株式会社遠藤製作所 群馬工場

ワイヤーハーネス一貫生産
連携により技術を高め
地球にやさしい製品提供



所在地 邑楽郡

住所 邑楽郡大泉町古海736-5
TEL 0276-47-3111
Mail info@endo-ss.com
URL http://www.endo-ss.com
代表者 遠藤 裕之
設立 1984年9月1日
資本金 1,000万円
従業員 全社 85人 群馬工場 30人

WEBサイト



企業紹介

当社は主に電機製品のワイヤーハーネスの製作、電線・ケーブルの端末加工、電装ユニット組立てを行っている会社で、2023年9月に創業50周年を迎えることができました。

ワイヤーハーネス加工から電装ユニット組立てまでの一貫生産を強みとして、お客様に匠の技術力を生かし、高品質・短納期・低価格で製品・サービスを提供しています。

未来をつなぐ源。インターフェイス加工のプロ集団です。

経緯・背景

地球温暖化(近年では沸騰化と言われております。)対策で、地球にやさしい企業として作る責任を見直す機会だと思いました。

省資源・省エネルギーを推奨する社会のニーズに応じて活動している中で自然災害や海洋生物問題など、環境の変化を自分たちが実感したことから、まずは身近な場所からごみを拾い、分別をし、CO2を排出しない、簡単なことから一人一人が行動に移してきました。結果として、地球にやさしいSDGsに取り組むことになりました。

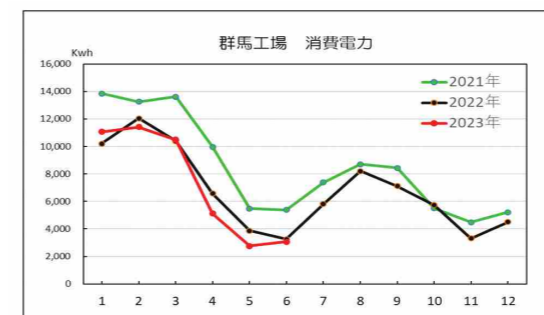
LED照明や井戸水利用で 消費電力抑制へ 社員の健康と職場環境配慮

具体的な取組・成果

- デマンド監視装置の設置
アラームが鳴ることにより電気最大使用量に達したことがわかり、消費電力の抑制につながっています。
- 照明のLED化を実施し、消費電力量及びCO2排出を削減しました。



- 井戸水をくみ上げ、屋根に設置されたノズル5基から噴射することで、工場内の気温上昇を緩和し、消費電力を削減しました。



年別消費電力推移

消費電力の削減実績 (2021年度対比)
2022年度 30%減 (LED工事後)
2023年1月～6月 32%減 (削減維持)

- ごみの削減・分別・リサイクルに取り組んでいます。
- 社内の高齢化に伴い、健康経営優良法人認定(経済産業省所管、日本健康会議認定)に向けて健康増進に取り組んでいます。
- 定期的な健康診断受診率100%達成、全従業員にストレスチェックを実施しています。
- 従業員が家庭と職場の両立ができる働きやすい職場環境づくりを進めます。



次世代の架け橋 従業員のみなさん

当社にとってのSDGsビジョン

- 地球環境にかかる負荷を軽減した生産を次世代につなげます。
- 関わる全ての人たちが幸せを感じられる未来の実現に取り組みます。
- お客様及び自治体との連携強化で社会に貢献できる会社を目指していきます。
- 廃棄材料が新製品として生まれ変わり、社会へ貢献できるよう目指します。
- ハンディキャップのある方、老若男女(ジェンダー)平等な役割分担に基づく雇用を目指します。

今後の展望と求めるパートナー像

企業各社との連携により、商品開発からご希望の用途、ご提案のサポートをさせていただきます。もの作りを通じてお客様の満足度を常に追求し、同じ目線で寄り添って、技術力を高め合い、地球にやさしい製品を社会に提供します。



株式会社金谷興油

油剤の交換作業や タンク清掃作業 廃油の収集運搬から処理まで



太田市

住所 太田市細谷町336-1
TEL 0276-31-5384
Mail kanaya-oil@kanaya-oil.com
URL http://www.kanaya-oil.com
代表者 清水 雄次郎
設立 1984年6月12日
資本金 1,000万円
従業員 43人

WEBサイト



企業紹介

当社は、製造業の皆様のご要望にお応えして、環境にやさしい高性能な金属加工油を中心に工業用潤滑油や環境関連商品を幅広く取りそろえております。また、当社の強みである油剤の交換作業やタンク清掃作業、そして平成20年の大泉工場操業開始以降は廃油の収集運搬・処理まで行う一貫体制を組んでいます。商品の供給やコンサルティング、リサイクルまで、お客様のニーズに合わせたトータルサポートシステムを納入パッケージサービスとして提供しています。

経緯・背景

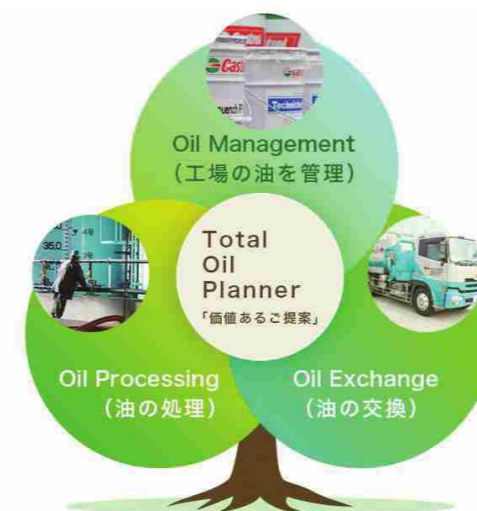
創業して40年。環境側面が目まぐるしく変化している昨今、当社としても環境保全活動を活発に行っていました。その中で、お客様からしきりに【CO2削減】【カーボンニュートラル】というお話を聞くようになりました。環境活動に一層の関心が高まっている状況で2030年までになにができるのか？なにをしなければならないのか？を考え、実行するためにSDGs宣言を行いました。「社会」「経済」「環境」の側面から持続可能な取組を実施しております。

再生重油原料を生産し 油脂リサイクルの 一端を担う

具体的な取組・成果

【リサイクル】

当社は、製造業の皆様より廃油を回収し産業廃棄物中間処理を行うことで再生重油原料を生産し油脂リサイクルの一端を担っております。2022年実績におきましても年間廃油処理量の7.3%を再生重油原料としてリサイクルを行いました。



油脂に関する管理・販売→廃液の回収・タンク清掃→廃液の処理という一連の油脂使用によるサイクルを全て対応できるのがトータルオイルプランナーである当社です。

【CO2削減】

当社のCO2排出量の8割が自動車やトラックの燃料使用によるところが大きく、エコドライブの推進やハイブリット車の積極導入を行いエコアクション21にて定める目標に対して10%の削減を達成しました。



廃液の回収・清掃する車両を多数所有しているためお客様に迅速に対応できます。

【廃棄物削減】

廃棄物量削減としても、5S活動の強化や廃棄物のリサイクル化によりエコアクション21にて定める目標に対して53%の削減を達成しました。

【カーボンニュートラル社会を見据えて】

製造業の皆様が定める環境目標実現のお役に立てるよう、環境負荷の低い製品の販売やカーボンニュートラル製品の販売、お客様のCO2削減に向けたコンサルタントも含め脱炭素社会の実現に向けた営業活動を行っております。



高圧洗浄作業

当社にとってのSDGsビジョン

生産工場において必要とされる油脂類をお客様のニーズに合わせて提供します。納入から廃棄までを一貫して提供するサプライチェーンとして、お客様のコストダウンのお手伝いをいたします。当社の環境宣言を行動原理としてSDGsの達成を遂行しています。

今後の展望と求めるパートナー像

今後も環境負荷の低減と環境整備を進め、資源リサイクルを推進します。また地域に根差した企業として自治体、大学との産官学連携を目指していきます。



かんとくYAWARAGIエネルギー株式会社

地産地消で 再生可能エネルギーを供給



足利市

住所 足利市堀込町2656番地7 ASKビル1-2
TEL 050-5530-6229
Mail info@kanto-yawaragi-energy.com
URL https://kanto-yawaragi-energy.com/
代表者 三村 挑嗣
設立 2022年7月7日
資本金 1,025万円
従業員 4人

WEBサイト



企業紹介

当社は、2022年7月に群馬銀行の投資専門子会社であるぐんま地域共創パートナーズ(株)(代表取締役 鏡山英男)と地域の企業3社とで地産地消の再生可能エネルギーを普及させることを目的に、「地域発電会社」として共同設立されました。当社は、持続可能な地域社会づくりに向けて、オンサイトPPAモデルによる太陽光発電システムの設置を中心に、オフサイトPPAモデル等にも取り組みながら、地域の需要家に必要とされる再生可能エネルギーを提供しています。

経緯・背景

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル宣言をしました。また、気候変動対策として、多くの企業や団体が様々な形で脱炭素化に向けて取り組んでいます。

そのなかで、自社の本業に関連し地域脱炭素化に向けて問題意識を持っていた企業が地域に循環型のエネルギー事業を創るという大きな「実り」を共有し、地産地消の再生可能エネルギーを「共に創るモデル」となることを目指して設立されました。

店舗屋上で太陽光発電 各地域ごとのモデルづくり 脱炭素化への取り組みも

具体的な取組・成果

当社は、2023年3月に(株)群馬銀行とオンサイトPPA契約を締結し、同行高崎田町支店の店舗屋上への太陽光発電設備の設置を進めてきました。同年10月発電設備の設置が完了し、再生可能エネルギー電力の提供を開始しました。



群馬銀行高崎田町支店の太陽光発電設備

その後2024年1月に(株)ミツバ様でもオンサイトPPAによる発電を開始しました。そのほか、(株)シタラ興産様、(株)群馬銀行3か店とPPA契約を締結しており、同年3月までに順次発電を開始する予定です。



ミツバ様赤城工場の太陽光発電設備

また、2023年11月に伊勢崎市と「脱炭素化の実現に向けた連携協定」を締結しました。当社は本連携協定に基づき同市と環境・エネルギー分野で連携し、同市の脱炭素化を推進・加速化することにより、地域社会の持続的発展に貢献したいと考えています。

そのほかにも現在、複数の基礎自治体様からご相談を受けており、それぞれの地域にあわせたモデルづくりを推進していきます。

今後も持続可能な地域社会づくりに向けて、再生可能エネルギーの地産地消と地域の脱炭素化に取り組んでいきます。



伊勢崎市との脱炭素化の実現に向けた連携協定締結式

当社にとってのSDGsビジョン

当社は、企業理念として「おかげさまエネルギーを、お互いさまネットワークで。」を掲げ、持続可能な地域社会づくりに向けて、地域の資源を活用して自然由来の電力を地域の需要家に届ける電力の地産地消モデルをつくります。また、「共助による」ささあいの場”となり、地域の思いをつむぎます。

今後の展望と求めるパートナー像

将来構想として、①ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)によるエネルギーの地産地消+食の地産地消、②恩送りの料金システムによるNPO等への「資金と思いの循環モデル」づくり、③バイオガス発電等のほかの再エネ事業を構想中です。また、単なる電力販売にとどまらず、持続可能な社会づくりに広く取り組んでいきます。



伸成工業株式会社

誰からも頼られる企業に
金属フライス加工一筋
技術と良品の提供を目指す



安中市

住所 安中市板鼻523-1
TEL 027-382-6537
Mail info@sinseikogyo.com
URL http://www.sinseikogyo.com
代表者 武藤 伸幸
設立 1969年10月6日
資本金 1,000万円
従業員 7人



企業紹介

当社は、昭和44年の創業以来、金属フライス加工一筋で努めてまいりました。今日では、コンデンサー製造ラインの設備部品や光学機器・電子関係の精密部品の加工を主に手掛けております。当社は、誰からも頼られる企業であることを目標に、お客様から加工品技術に関わる相談を受けたり、提案ができる会社(人)になることを目指しています。ものづくりとSDGsの社内活動を通して、主体的に社会活動ができる人財を育成し、次世代への加工技術の継承と「人・自然・文化との共生」を図るため、日々考え、学び、努力しています。

経緯・背景

SDGsの課題への対応は、経営リスクの回避とともに社会貢献や地域社会からの信頼獲得、良い人財の獲得にもつながるなど、会社の継続経営にプラスの効果をもたらします。弊社はSDGsの取組をすることにより、顧客様には環境負荷をより低減した製品を提供していくこと、また従業員の皆さんにはより働きやすい職場環境を提供し健康的に長く働いていただくことで、社会的信頼の獲得や企業価値を高めることができ、今後も持続可能な企業経営を行うことができると思っています。

環境負荷低減に取り組み 健康経営による職場環境 改善と人財育成に取り組む

具体的な取組・成果

●エコアクション21の認定事業者として環境負荷低減に取り組んでいます。

【取組例】

①自家消費型太陽光発電を導入し、使用電力の30%程度をまかなっております。また照明のLED化や、屋根に遮熱塗料を塗布し冷暖房熱効率を向上させ省エネを実現しています。



自家消費型太陽光発電

②スーパーアルカリイオン水生成器を導入し、水溶性切削油の腐敗を防止し油交換頻度を低減、従業員の労務低減と産廃物の削減、節水を図っています。また、日々の清掃作業にも界面活性剤の洗剤ではなくスーパーアルカリイオン水を代用し排水への環境負荷を低減、水資源の保全に努めています。

●健康経営優良法人認定事業者として、働く人の健康増進に取り組んでいます。

【取組例】

①食生活改善に向けた取組として、毎月「菜の日」を設け有機野菜を配布、また社内にヤクルトや野菜ジュースなどの健康に配慮した飲料を設置し、毎日1本自由に飲めるよう提供しています。

②柔軟な働き方ができるように変則勤務制度や短時間社員制度を設け、従業員の希望に沿った働き方ができるよう支援しています。

③仕事と家庭の両立に向けた環境づくりとして、残業時間の上限設定と事前申告制度を設け長時間労働を抑制しています。

●ISO9001:2015認証登録事業者として、徹底した品質管理と人財の育成に取り組んでいます。

【取組例】

①不良品発生数の削減を品質管理目標に設定し、廃棄物の削減や使用エネルギー低減に努めています。

②従業員の技術習得のために、社内OJTと週2時間の自習時間制度を設け、従業員の学ぶ機会を提供することにより、高度技術の習得と多能工化を推進しています。また、各加工技術にマイスター制度を設けることで、従業員のモチベーション向上を図っています。



製品一覧

当社にとってのSDGsビジョン

当社は、『自然と共生する会社』『地域社会に貢献する会社』『全ての人によりよく生きることができる会社』を目指しています。自社に所属する全ての人、人としての自立、自然・地域社会との共生と発展のために尽力し、2030年のSDGs達成に向けて貢献していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

今後もSDGs達成に向けて社内改善と人を生かす職場環境を整え、企業価値を向上させ会社の継続性を高めていきたいと思っています。廃棄物の再資源化や再生可能エネルギーの活用、IT活用によるペーパーレス化や作業の合理化、スマートファクトリーの実現を得意とする企業とのパートナーシップを結んでいきたいです。



soil labo 株式会社

地盤調査・地盤改良・土の 専門家。地盤関連の コンサルティング業務



前橋市

住所 前橋市広瀬町2-2-13
TEL 050-3668-5756
Mail soil@gunmajiban.com
URL https://www.soil-cafe.com
代表者 大谷 京子
設立 2020年11月1日
資本金 100万円
従業員 5人

WEBサイト



企業紹介

当社は、3年前に組織体制を改編しましたが、gunmajiban 高橋技研として前橋市で20年間、地盤調査・地盤改良・土の専門家として活動を行ってきました。

現在は以前と同様の業務と新たに土関係全般の研究及び地盤関連のコンサルティング業務を提供しています。

(つくば地盤技術研究所 開設 2020.8.13)

経緯・背景

SDGsに関連して、海洋ごみ問題やマイクロプラスチックについて考えるようになりました。調べたところ、先進国の廃プラスチックが発展途上国へ輸出されていることを知りました。また、ごみ最終処分場の施設整備に携わったことから、日本のごみ排出状況について調べたところ、国民一人が一日あたり1kg弱のごみを排出していることを知りました。2045年頃には、ごみ最終処分場が飽和し、ごみを埋立てできなくなると想定されています。これらのことから、当社でできることを考え、取組を始めました。

リペア事業を通じて ごみを減らし、人と人を つなげ、自然環境保全に貢献

具体的な取組・成果

具体的な取組として、5Rの概念を事業に取り入れています。

業務で使用されるプラスチック製品（クリアファイル・書類のカバー・バインダー等）を紙製品に切替プラスチックスマートの活動に取り組んでいます。

切替えのコストはかかりましたが、社内文書の再利用や電子納品の徹底等により、紙や郵送費にかかっていたコストを削減することができました。



環境整備事業

また、循環型社会を目指して、5Rの一つリペア技術の研究開発と技術提供・普及に取り組んでいます。群馬県内では、道の駅や駅前整備事業等に技術提供を行っています。また、リフォーム業者やハウスクリーニング業者等を対象としたリペア技術の講習等を実施しました。当講習を受講した一般の方が、10名程度身につけた技術をもとに独立へと至っています。

当社としては研修費・独立支援費・ブランド使用料等の新しい収益につながりました。

リペア技術により、従来廃棄していた建材や家具などを再利用することができ、ごみの削減につながっていると考えます。群馬県のごみ排出量の削減に微力ながら貢献できたと考えています。

将来的にはリペア品や再生材の販売、リペアカフェ（修理できる人と物を修理してほしい人が集うイベント）を開催し、モノとおして人をつなげる場所を提供したいと考えています。



リペアの取り組み



PRチラシ

当社にとってのSDGsビジョン

- ①SDGs 8 働きがいも経済成長も 新たな市場価値の創造
- ②SDGs 12 つくる責任 つかう責任 循環型社会を目指す
- ③SDGs 14 海の豊かさを守ろう プラスチックスマート推進
- ④SDGs 15 陸の豊かさを守ろう 空間活用 緑化計画

今後の展望と求めるパートナー像

リペア事業によりごみを減らし、人と人をつなげ、自然環境保全に貢献します。

従来の事業は継続し、新たにリペアカフェを開催し、市民の交流や情報交換の場、リペア技術の周知につなげたいと思います。

パートナー像：電化製品やおもちゃ、自転車、家具、時計等を修理できる人



高砂熱学工業株式会社 群馬営業所

省エネ、環境負荷低減への 貢献を自覚 脱炭素社会に貢献



高崎市

住所 高崎市栄町22-29高崎ペヤングビル5F
TEL 027-327-7082
Mail akihiro_yamakuro@tte-net.com
URL https://www.tte-net.com/
代表者 群馬営業所 所長 山畔 明弘
設立 1923年11月16日
資本金 13,134百万円
従業員 2,166人

WEBサイト



企業紹介

当社は1923年創業の空気調和設備の設計、施工を主体とした会社であり、2023年11月で、創業100周年を迎えました。特にクリーンルームや恒温恒湿などの特殊空調など高品質な空調設備の施工を行っており、群馬県内においても、ビルや工場、病院などの施工実績が多数あります。

経緯・背景

昨今の気候変動の深刻化に伴い、脱炭素化は地球規模において急務な課題です。建物エネルギーの大半を利用する空調設備工事をなりわいとする当社において、省エネ、環境負荷低減への責任を自覚し、施行プロセスを変革しながら、脱炭素社会に貢献したいと考えております。

環境エンジニアリングにより、脱炭素社会に向けた世界に貢献

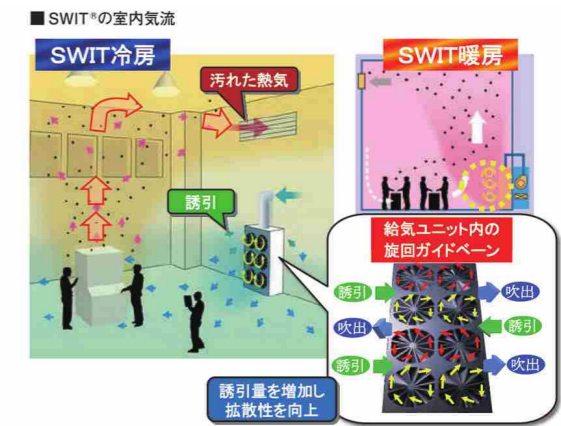
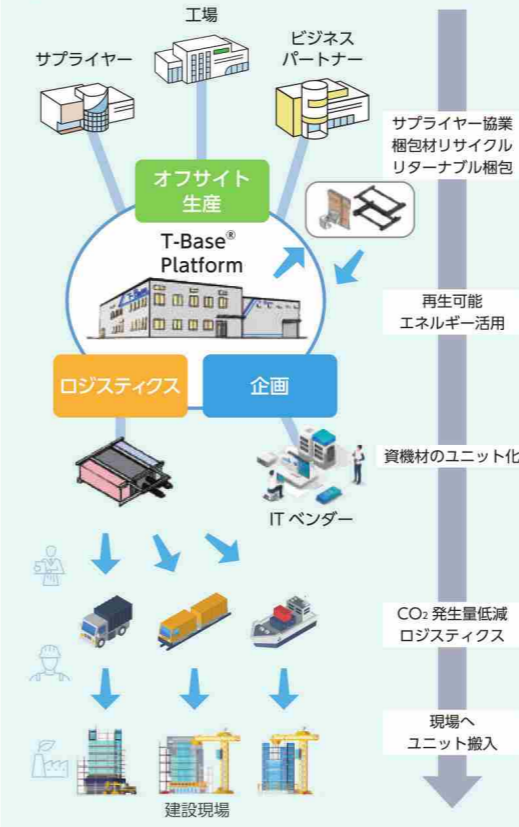
具体的な取組・成果

当社は、新たなエネルギー源となりうる水素について、自社で開発した水電解装置などを利用した水素事業に着手しています。施工においてはT-Baseを活用し、現場を問わず共通の部分や繰り返し作業となる部分を標準化し、現場で作るオンサイト施工からT-Baseで生産・供給するオフサイト施工化への取組を行い産業廃棄物の削減を行っています。また、各支店において、客先に対して空調設備のリニューアル提案を行い、

T-Base®外観



オフサイトでの環境貢献



施工することで、お客様のCO2削減に貢献しております。

- 旋回流誘引型成層空調システム「SWIT」の導入
工場等の空調設備のリニューアル提案において、当社は成層空調システム「SWIT」を提供しております。成層空調とは、室内の居住区域のみを空調するシステムであり、これにより空調設備に使用しているエネルギー量の低減を実現しております。群馬県内においても、某機械工場や自動車工場にて採用実績があります。

当社にとってのSDGsビジョン

当社グループは、ESG・CSRを経営の根幹に位置づけ、社会との調和を追求するとともに、持続可能な社会の実現に貢献していくことを基本姿勢としております。SDGsに対しても、環境エンジニアリングにより、脱炭素社会に向けた世界に貢献することが、当社グループの持続的な発展に結びつくものと確信しております。

今後の展望と求めるパートナー像

群馬県内における、空調設備のリニューアルを検討中の企業様と共に、省エネや脱炭素化へのご提案を行っていただければと考えております。



株式会社 日立プラントサービス 北関東営業所

地球環境に貢献する水・環境
ソリューションパートナー
群馬県をサポート!!



高崎市

住所 高崎市宮元町212番地（高崎宮元町ビル4階）
TEL 027-384-4266
URL <https://www.hitachi-hps.co.jp/>
代表者 風間 淳（北関東営業所長）
設立 1964年9月15日
資本金 30億円
従業員 1,390人（2023年3月31日現在）



企業紹介

私たち日立プラントサービスは、「地球環境に貢献する水・環境ソリューションパートナー」となることを目指しています。そして総合エンジニアリング企業として、空調・産業プラント、バイオインダストリー、水処理などの分野で、モノづくりの高度化と、きれいな水、クリーンな環境の実現に貢献してきました。今後も、持続可能な社会の実現に向けて地域社会の皆様と積極的な連携を取り、社会が直面する課題に率先して応え、SDGsの達成に貢献します。

経緯・背景

日立グループが推進してきた社会イノベーション事業創出に向けた取組は、まさにSDGsの達成に貢献するものであり、日立グループの持続的成長の源泉であると言えます。私たちもグループの一員としてこれまで培ってきた経験とノウハウをもとに、グループの持つ情報処理技術「IT」、プロセスの制御・運用技術「OT」、「プロダクト」をデータを介してつなぎ合わせることで、新たな価値創出を目指しています。お客様と社会から信頼・共感されるパートナーとして、また希望あふれる未来に向けて責任ある企業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

ソリューション提案型総合 エンジニアリング企業として サステナブルな社会に貢献

具体的な取組・成果

【企業活動】

当社は2030年の「ありたき姿」として、「価値を協創できるグローバルリーダー」を目指し、ダイバーシティ&インクルージョンを推進します。知識と技術を活用して次世代を担う人材の育成に取り組み、適切な教育を通して企業としての人権尊重の責任を果たしてまいります。



ありた樹（2030年の弊社の姿をイメージ）

●現在の取組内容：教育制度改革実施、ダイバーシティ教育強化、働き方改革の推進、健康経営に向けた取組、地域への貢献活動

【事業戦略】

「安全な水の提供で安全・安心な暮らしを支える」

顧客・地域の課題に応じた水インフラの構築・運営を掲げ、デジタル技術の活用・新技術開発・企業間連携を推進します。

水インフラ事業の幅広い実績と「OT × IT × プロダクト」の最新技術により、「きれいな水」「クリーンな環境」の実現を目指していきます。

●現在の取組内容：新技術開発による処理能力の向上、省エネ、高いリサイクル性の提供、下水処理場（当社が運転管理を受託したサイト）において水質とエネルギー消費量のバランスを評価する管理を導入、遠隔監視システムの開発

「エネルギー使用の効率化」

設備とデジタルの融合による環境配慮型次世代ユーティリティ企業を目指します。

お客様やパートナーとの協創を進め、社会全体でより効率的なエネルギー活用を推進します。そのために、

「OT × IT × プロダクト」のトータルソリューションを提供します。

●現在の取組内容：お客様の工場への省エネソリューション開発・提供、デジタルデータを利活用したソリューション提供

「あらゆる活動で気候変動への対策を」

脱炭素社会へグローバルで貢献すると共にバイオインダストリーのプロセススペシャリストを目指し、ステークホルダーおよび自社のCO2排出量削減や各種新技術開発を推進します。

「日立環境イノベーション2050」の推進を通して、「脱炭素社会」「高度循環社会」「自然共生社会」の実現に向け取り組んでいきます。

●現在の取組内容：脱炭素社会の実現に向けた研究開発の取組、お客様への各種省エネルギー提案、地球温暖化係数・オゾン層破壊係数の低い製品の採用

つながる強さ、 つなげる責任。

当社にとってのSDGsビジョン

日立プラントサービスは、「ソリューション提案型総合エンジニアリング企業としての価値提供、そしてサステナブルな社会に貢献」することを、2030年の「ありたき姿」として定めております。

「ありたき姿」とは全てのステークホルダーとともに育ち、成長し、実をつけ、みんなで価値を共有することをイメージしています。

今後の展望と求めるパートナー像

総合エンジニアリング企業として培ったノウハウと日立グループのデジタル技術によって、様々な現場・企業・業種とのナレッジをつないでいき、群馬県内の皆様と一緒に地域社会の成長にワンストップで貢献していくと共に、地域の皆様の課題を解決し、「イノベーション」を生み出していきます。



社会福祉法人フランシスコの町

カトリックの教えを基に
児童の健やかな成長・
自立への貢献目指す



高崎市

住所 高崎市金古町830-3
TEL 027-373-1021
Mail furansisuko@dance.ocn.ne.jp
URL https://www.francisco.or.jp
代表者 齊藤 明美
設立 1949年3月
資本金 4,800万円
従業員 42人



企業紹介

当施設は児童養護施設です。両親の死別や離別により保護者がいなくなった児童、虐待されている児童、環境上その他の事情のため施設での養育を必要とする2歳から18歳の児童が入所しています。当施設では、昭和24年3月に養護施設として認可されて以来、カトリック(キリスト教)の教えを基盤に据え、「聖フランシスコの愛の精神」にならい、子どもたちの安心・安全のため、健やかな成長と自立のために、日々の養育に努めています。

経緯・背景

当施設は周囲を田畑や木々の緑、小川に囲まれており、自然豊かな環境の中で入所してくる子どもたちを養育しています。近年の気候変動による異常気象、東日本大震災以降の自然エネルギーへの回帰など、目まぐるしく変化する社会の中で、未来を担う子どもたちに自然豊かなこの環境を残し引き継いでいきたい、そして、それが地域社会の皆様への貢献になると考え、取組を始めました。

農業に取り組み環境美化 自然エネルギーの有効活用 DX化で業務効率推進

具体的な取組・成果

- 周辺の耕作放棄地を借受け、水田や畑で米、野菜の栽培に取り組んでいます。また、この取組に伴って土地を整備し、草花の植付けを行うなど、地域環境の美化に努めています。
- 施設で耕作した田畑で収穫される野菜は、有機肥料を使用し、農薬の使用を極力控えるなど、自然環境の保全に努めています。また、残った野菜くず等を発酵・分解し、肥料として用いるなど、環境にやさしい農作物栽培に取り組んでいます。また、施設の子どもたちとともに田植えや稲刈り、野菜の収穫を行うことで、自然環境を大切にする子ども、食物を大切にできる子どもたちの育成に努めています。



協力して野菜を栽培

- 「女性が活躍できる職場」を目指し、産休・育休制度を整備しました。実際、過去3年間に5名の女性職員が産休・育休を取得しています。また、女性職員が主任を務めるなど、女性の積極的な登用に努めています。
- モバイルPCの導入やネットワーク内での文書の作成・記録・通知などによるデジタル化を通して、業務の効率化を推進しています。また、これらの取組によって、従来の紙媒体によるやり取りを大幅に削減するなど、ペーパーレス化にも貢献しています。

- 「環境への配慮、限りある資源を大切に」という観点から太陽光パネルを設置し、そこで得られた電力を施設内に供給しています。この取組を通じて、電力会社からの電力供給を大幅に削減するなど、自然エネルギーの有効活用已成功しています。



発電した電力を施設内で活用

当社にとってのSDGsビジョン

持続可能な社会の実現のため、以下の3点を重点目標として取り組んでまいります。

- 豊かな自然環境を守り、次世代に引き継ぐ
- 女性が活躍できる社会の実現
- 自然エネルギーの有効活用

これらの取組を通じて、地域社会の皆様にご貢献できればと考えております。

今後の展望と求めるパートナー像

施設見学に来た方々や実習等で来所した学生さんに施設の取組を紹介し、周知していただくことを通じて、DX、GXに対する理解と協力の輪を広げていきたいと考えています。



北進重機株式会社

木くずリサイクル事業通じ 地球環境保全を促進 信頼に応える企業を目指す



所在地 渋川市

住所 渋川市川島1839-1
TEL 0279-25-0815
Mail information@hokushinjuki.co.jp
URL http://hokushinjuki.co.jp/
代表者 小野里 剛
設立 1980年5月1日
資本金 1,000万円
従業員 37人



企業紹介

当社では、木くずリサイクル事業（伐採、収集運搬、処分）、建設機械のエンジニアサポート及びセールス事業、リサイクル推進機械インポートを通しての活動を行うとともに、製品及びサービスにおいて環境に対する影響を継続的に改善し、地域社会及び地球の環境保全に積極的に貢献していきたいと考えています。

経緯・背景

地域社会及び地域の環境保全に積極的に貢献することでお客様の信頼にお応えします。

- 『100%グリーンリサイクルサービス』
- 環境のためのプロダクト
- 地球にやさしく

より安全にお客様の信頼にお応えする企業を目指します。

- 技術の向上
資格・免許取得や人材育成を推進することで、社員それぞれの仕事において役割と責任を持つエキスパートとなることを目指します。
- エコプロジェクト
ISO14001（環境）運用に積極的に取り組みます。

リサイクル通じ持続可能な循環型社会の構築を目指す

具体的な取組・成果

- 当社では、持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）の達成のために以下の取組を実施しています。
- 定期健康診断を実施しています。
- 業務に必要な資格や免許の取得を推進し、知識や技能を身につけようと学ぶ姿勢を評価しています。



第三リサイクル工場（解体材）

- 安全第一を基本とした人材の育成に力を入れています。
- 関東全域の工事現場等から出る木くず（産業廃棄物・一般廃棄物）をリサイクル工場にて中間処理（破碎）を行い、バイオマス発電所燃料・家畜の敷料・マルチング材・肥料原料等にしています。
- 様々な高性能林業機械を積極的に導入し、作業の機械化を進めることで、効率化や労働負荷の低減、安全性の向上を目指しています。
- 電子マニフェストを導入し、アナログ作業を減らし作業の効率化を目指しています。
- 小さな現場から大きな現場まで伐採工事、伐採工、収集運搬、処分一式を行い、森林環境保全に配慮した施工を行っています。



第二リサイクル工場（入口）

- 木くずはリサイクル工場で破碎することでウッドチップとなります。チップ化された廃材は、畜産用の敷材やブルーベリー栽培時の敷材、遊歩道の敷材、バイオマス燃料として使用されます。



第二リサイクル工場

当社にとってのSDGsビジョン

重点取組項目として、以下3点を掲げています。

- 信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスの確保
- 生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）の促進
- 持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失の阻止

この3つの視点から社会、地域課題の解決に貢献していきたいと考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

- 地域や取引先、事業パートナーとの協力を密にし、地域問題解決のため一緒に取り組んでいただける方との連携を拡大します。
- リサイクルを通して、持続可能な循環型社会の構築を目指します。
- 地域や企業の皆様に、リサイクル可能な木くずの周知・提供を行いたいと思います。



株式会社村山製作所

社会が必要とする製品を
地球環境への負荷を
減らしながら安定して供給



太田市

住所 太田市下田島町1549番地1
TEL 0276-20-6277
Mail y-murayama@msg-philos.jp
URL https://msg-philos.jp/
代表者 村山 泰義
設立 1967年11月7日
資本金 2,400万円
従業員 42人



企業紹介

当社は、戦後間もなく天然木材を加工した梱包・包装資材の製造・販売を始めました。その後、衛生的で品質確保に優れたプラスチックの可能性にいち早く着眼。その活用を歩を進め、1967年、(株)村山製作所として法人化し、プラスチック製食品容器を通じて日本の安心安全な食文化を支えてきました。

1991年に販売・物流を担うエム・エス・ジー(株)を設立、近年では本社工場建替えや東北・茨城における製造・物流拠点構築など、取引先様はじめ関係者の皆様に支えていただきながら、着実に前進しております。

経緯・背景

当社は、エネルギー利用した原油の残さ物から作るプラスチックを早くから取り入れ、衛生的で便利な食生活への貢献を続けてきました。しかし、大量生産・大量消費の生活により、地球環境が破壊されつつあり、環境負荷を低減した持続可能な経済活動が求められています。私たちは、地球資源の浪費や廃棄物による汚染の問題と向き合いながら現実解を追求していくことで、社会が必要とする衛生的で安心安全な製品を地球環境への負荷を減らしながら安定して供給できるように努めてまいります。

サプライチェーンと協働してリサイクルの仕組みを整え、循環型社会構築

具体的な取組・成果

●環境配慮

サプライチェーンとの協働により、再生プラスチックを50%配合した食品容器CircuRENA®(サーキュレナ)を開発、製造・販売しています。この容器は外部評価としてエコマーク認証を取得しました。主に納豆容器で展開し、好評を得ています。

また、非石油系素材の配合率が高い材料や、バイオマスプラスチックなどの活用にも取り組んでいます。

更に、太陽光発電や省力化設備(氷蓄熱空調)、太陽光照明(トップライト)、LED照明等、省エネルギー機器の更新により、環境負荷の少ない工場づくりを推進しています。令和4年度は前年度に比べて生産高が2%向上したにも関わらず、電力消費量は微減となりました。

また、群馬県環境GS(ぐんまスタンダード)認証を取得しています。



サーキュレナのエコマーク登録証

●社会課題解決

■評価制度を構築するとともに、給与制度を見直し賃上げを実施しました(2023年4月および10月)。



従業員

■諸手当の一部を基本給として扱うよう変更し、賞与を含めた年間所得を実質増額しました。
■年間休日を

6.4%増やしました(2024年1月から)。

- 女性管理職の積極的な登用を推進しています。
- パート従業員の正社員化や障がい者雇用にも力を入れています。



本社工場



当社にとってのSDGsビジョン

- サプライチェーンと協働してリサイクルの仕組みを整え、循環型社会構築に貢献します。
- 製品に使用する資源を減らしていきます。
- 生産や流通に使うエネルギーを減らしていきます。
- ステークホルダーの幸福(ウェルビーイング)向上に貢献します。

今後の展望と求めるパートナー像

- 地域の産学官と連携し、以下のことに取り組みます。
- 環境配慮型の製品やサービスの積極的なデザイン・開発
 - 製造や物流にかかる設備の省エネ・高効率化
 - 静脈輸送まで考慮に入れた物流体制の構築



株式会社矢野

環境負荷削減商品の提案、 そして働く方々の 職場環境の見直し



みどり市

住所 みどり市笠懸町久宮115
TEL 0277-77-7311
Mail y-contact@kkyano.co.jp
URL https://www.kkyano.co.jp/
代表者 春川 昭二
設立 1951年12月26日
資本金 9,000万円
従業員 38人

WEBサイト



企業紹介

創業1717年(享保2年)より306年目を迎えた、北関東を地盤とする商社です。化学品を中心に、化学薬品・染料・プラスチック原料・成形機・包装資材や関連する機器・設備までと幅が広く、近年は大幅な気温の変化に対応するため、建物の屋根・室外機等に設置する遮熱(防寒)対策製品に多くのご用命をいただいております。また、生ごみ処分に伴うCO2削減効果のある製品の販売を行っており、環境にやさしい製品の販売に注力しております。2007年よりISO14001認証を継続し、2023年には事業継続力強化計画の認定を受けております。

経緯・背景

当社の経営理念にもある「社会の発展に貢献する」という使命のもと、北関東を中心として、各種産業で使用される原料・資材などの流通に携わってまいりました。近年、異常気象、気候変動への対応や、環境負荷の低減・働く方々の労働環境改善、そして未来へ豊かな自然・生物多様性を受け継いでいくため、今できる低環境負荷・低廃棄・再生材のご提案や省エネ、建物の遮熱(防寒)対策製品・食品残さ削減製品等を展開しています。

遮熱・省エネ・ 節電対策製品の販売 全自動生ごみ消化機

具体的な取組・成果

●全自動生ごみ消化機

日本国内の生ごみは一般廃棄物の中で約20%程度を占めると言われております。その量約1,961万t/年(令和2年度)。また、様々なごみの中でも、生ごみは水分を含んでいることが多く、焼却がしづらいことからCO2を多く排出してしまいます。ごみの最終処分場はおよそ20年で寿命を迎えと言われており、社会問題とされています。



全自動生ごみ消化機の外観

当社の製品、「全自動生ごみ消化機」は、生ごみをバイオ(微生物)の力で分解し、分解液として一般排水処理をすることができます。生ごみをごみ処理場まで「運ばず・燃やさず」処分することができます。

「全自動生ごみ消化機」は、食品製造工場やスーパーマーケットのバックヤード等に導入され、様々な食品残さを分解し、生ごみの削減に貢献しています。また、今後、病院や老人ホーム等食品残さが発生する様々な



全自動生ごみ消化機内部の様子

シーンで活躍が可能であり、環境問題に取り組む企業様の一助となると考えております。

●遮熱・省エネ・節電対策製品の販売

持続可能な社会

を実現するためSDGsの目標の一つ「エネルギー対策」は、今後の製造業にとって重要な課題です。当社では工場の省エネ、CO2削減を実現する遮熱対策製品を取り扱っております。

●冷えルーフ：金属折板屋根用遮熱・断熱システム

金属折板屋根にシートを取り付け、日陰の効果で遮熱・断熱します。夏は暑さ対策・熱中症対策、冬は保温、結露緩和など一年を通し効果を発揮します。

電気代削減効果のほか、雨音削減・音鳴り削減等様々なメリットを發揮します。

●室外機の省エネ・節電対策

室外機へ対策を行うことで、エアコン効率が上がり、節電やCO2削減効果が期待できます。結果、5～20%の省エネにつながります。

電気代の削減・従業員の職場環境を改善したいといったニーズをお持ちの企業様に多くの施工実績がございます。

そのほか、様々な環境対策製品をご用意、また、ドローン空撮による点検作業も行っております。



室外機省エネ節電対策の様子

当社にとってのSDGsビジョン

廃棄物や環境負荷を減らす商品の開発や企業様への環境負荷削減商品の提案、職場環境の見直し、安定した供給体制など、私たちにできることから一つずつ取り組みます。私たちはSDGsの理念の元、持続可能な社会の発展に貢献すべく、邁進します。

今後の展望と求めるパートナー像

環境対策製品や「全自動生ごみ消化機」をより多くの企業様に導入いただき、遮熱効果・電気代削減・CO2削減、また、生ごみ廃棄に関わる環境負荷・廃棄コスト削減をご享受いただきたいと思います。持続可能な社会の実現に向け、ともに歩んでいけるパートナーを探しております。